



兼 東 栄 町 役 場
 兼 人 兼 者
 編 集 兼 行
 発 行 兼 者



豊 橋 市 東 八 町
 水 鳥 印 刷 所
 印 刷 所

東栄町消防団可搬動力ポンプ

愛知県消防操法大会で優勝

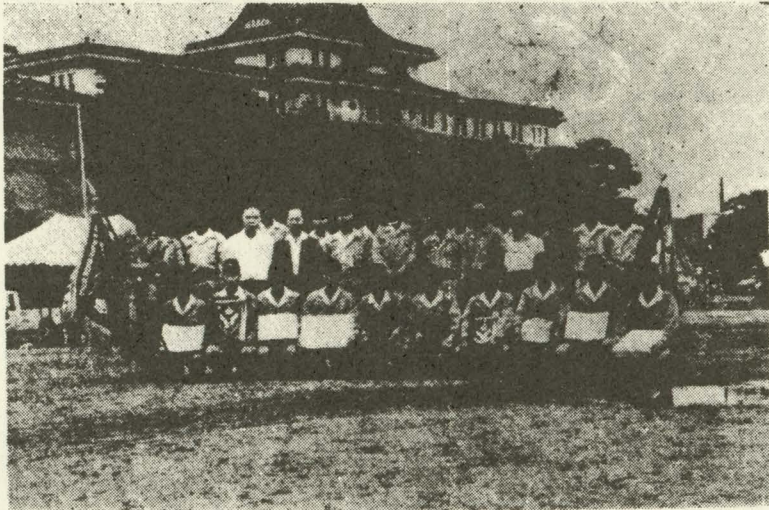
さる六月二十四日消防操法大会予選会で選出された第十六、第四分団の可搬動力ポンプは、七月八日稲武町で開催された郡大会、七月二十日豊橋市で開催された東三プロック大会をそれぞれ一、二位の成績で通過し、七月二十六日愛知県庁前広場で開催された愛知県消防操法大会に出場しました。午前十時出場十五ヶ市町村選手のパレードに続いて開会が宣言され大会が開始されました。

この日、台風六号の影響か前夜から降りしきる雨に会場はぬかるみ最悪の状態でありましたが出場選手は、市、町、村の名譽をかけて日頃練習の技を競い午後一時三十分全種目を終了し熱戦の幕を閉じました。

この結果可搬動力ポンプ操法の部において第十六分団優勝、第四分団第二位の優秀な成績を収めました。

当日の成績はつきのとおりであります。

愛知県消防操法大会成績
 可搬動力ポンプの部
 優勝 東栄町消防団第十六分団



二位 同第四分団
 自動三輪車ポンプの部
 優勝 小牧市消防団
 二位 設楽町消防団
 自動車ポンプの部
 優勝 上郷町消防団(碧海郡)
 二位 稲武町消防団

議会報告

定例会

昭和三十五年六月十九日午前
 十時東栄町議会定例会が東栄町役場会議室で開催され次の事項が議決されました。

- 一、昭和三十五年東栄町一般会計歳入歳出追加更正予算について
- 一、災害復旧土木事業費外一、六二二、四七四円増額
- 一、昭和三十五年国民健康保険園直診会計追加更正予算について
- 一、寄附採納願について
- 一、災害土木工事地元寄附金外三件
- 一、町道改築工事繰越施行について
- 一、町道飯田、海老線の土木工事の一部を昭和三十五年度に繰越施行するもの
- 一、東栄町税条例の改正について
- 一、註町民税所得割の税率引下げと控除額の引上げのため改正
- 一、東栄町農業委員会選挙による委員の定数改正について
- 一、註旧条例による二十四人を二十人に減員
- 一、東栄町農業共済条例の一部改正について
- 一、東栄町文化財保護条例の制定について
- 一、東栄町文化財専門委員設置に関する条例について

暑中お伺い

申し上げます

昭和三十五年盛夏

東栄町長	原田政久
助役	伊藤政市
収入役	伊藤博人
東栄町議会議長	職員一同
副議長	伊藤豊太郎
委員	伊藤梁市
教育委員	伊藤一
教育長	伊藤五男
委員	佐々木武夫
教育委員	伊藤一
委員	伊藤一



臨時会

昭和三十五年七月二十一日午前
 十時東栄町議会臨時会が役場会議室で開催され次の事項が議決されました。

- 一、町道路線の廃止について
- 一、町道路線の認定について
- 註別項参照

註別項参照

一、農業委員の推薦について
 註別項参照

一、財産処分について
 註統合による小学校建設資金に充てるため本郷財産区管理に係る山林(東栄町大字下田字向山一四番地)一町二反八畝四歩を売却処分

一、東栄町農業委員会委員部会定数条例を廃止する条例について
 註農業委員会選挙による委員の定数改正により部会設置ができなくなつたため

一、東栄町体育協合理事選任について
 一、東栄町文化財専門委員選任について

註以上二件別項参照

農業委員決定

東栄町農業委員会委員も七月十五日任期満了により全日一般選挙を実施したが本町は立候補者が定数と同一であったため無投票当選となり七月二十七日委員会を開催し左の通り決定した。

記

- 農業委員長 原田 政久
 会長職務代理者 伊藤 力
 委員、高橋福松、伊藤富雄、奥田哲夫、佐々木勝、原田守一、中尾要人、熊谷隆、平松甚七、本田繁春、金田喜作、鳥嶋英雄、森下幸夫、柴田静雄、加藤正男、花田利夫、原田昇、佐々木平八、内藤武治郎、清水伊三次、夏目理一、伊藤豊太郎、鈴木忠、後藤三三郎、伊藤梁市、関谷守爾
 愛知県農業会議員 原田 政久 (農業委員会)

NHKのど自慢 素人演藝会開催される

「三ツの歌」とともにNHKに於いて非常な人気を呼んでいる「のど自慢素人演藝会」がさる七月十七日本町本郷高等学校体育館で実施されました。のど自慢出演者五十余名、町内を始め郡内、隣郡県、豊橋、岡崎方面からも多数参加し一般参観者入場整理開始前より

黒山の如き人々の波、正午鐘ビアの音とともに開会された。郡内唯一をほこる「マンモス」体育館も超満員の観衆で青息と息の模様を示しました。鐘「ツ」カンで引込む者「カンカン」とツツでにんまりとするもの三ツで体中が喜びの人と徐々に舞台風景が変り、その都度、観衆の拍手と声援がとび郷土民謡演奏さ

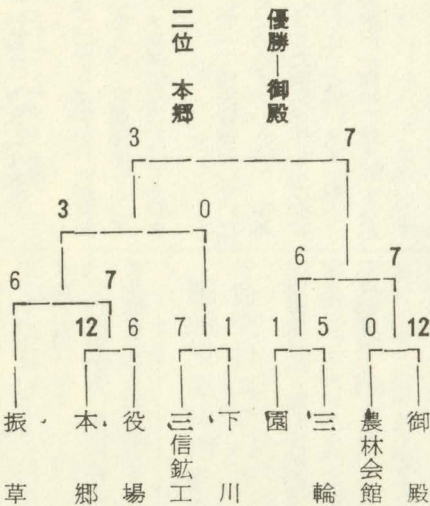
東栄町民野球大会 御殿チームが優勝

御殿チームが優勝

去る七月二十四日午前八時より東栄町民野球大会が町内の三輪、本郷、園、下川、御殿、振草、三信鉦工、農林会館、役場の九チームが参加して本郷高校、本郷小学校、中設楽小学校の三会場で開催された。

雲一つない炎熱のもとに攻防戦が展開され、夕やみ迫る午後七時すぎまで続いた。熱戦の結果、御殿チームが七対三で本郷チームを破り優勝と決まり、東栄町体育協会の賞、豊橋新聞社杯、不二タイムス社楯が御殿チームに贈られ拍手の嵐のうち、盛會裡にその幕を閉じた。

この大会の対戦成績は次のようでありました。



東栄町文化財保護について

近代において目ざましい文化の躍進の基因は、太古に根底があつてのことで、将来の研究をするに共過去の文化の足跡を探りその文化財を保護しなくてはならないこともまた大切だ。

記

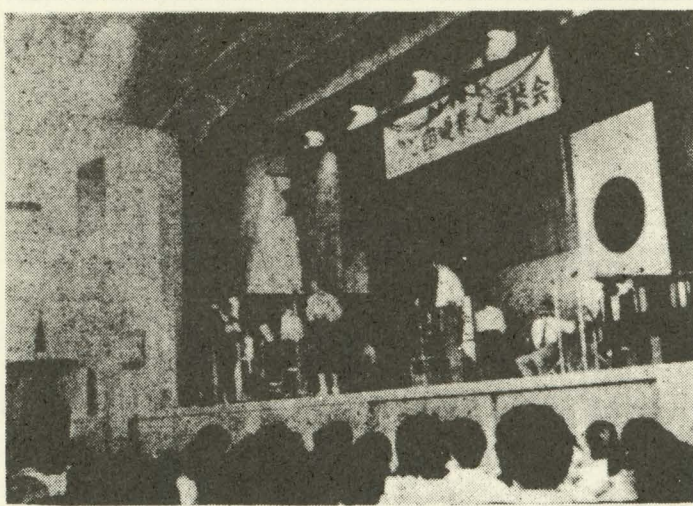
東栄町でもさる町議会で保護条例と専門委員会それに施行規則が制定されました。これによつて有形無形の文化財と、天然記念物が研究され保護されるわけです。町民各位のご協力をお願いいたします。なお今回教育委員会が委嘱いたしました委員は次の十五名です

- 東栄町文化財保護専門委員
 原田政久、伊藤豊太郎、原田敏介、丸山正雄、丸山宇吉、上村雲義、岡田松三郎、後藤三三郎、三高宏、伊藤力、伊藤栄作、鈴木久次、水江王岐治、神谷義仙、倉田明善
 理事改選
 東栄町議会で認定された、体育協会の新しい理事は次のように委嘱されました。

東栄町森林組合 役員

昭和三十五年五月二十日通常総会において左記の通り役員が決定した。

- 組合長理事 伊藤 豊太郎
 副組合長理事 柴田 静雄
 理事 原田 政久、藤原 秀吉、本田 哲次、原田 昇、菅沼 貞、松場 賢治、伊藤 重治、原田 研作、佐々木 憲、安藤 孝、伊藤 和郎、杉平 忠雄、森下 保治、森谷 貞夫、佐々木 太郎、伊藤 富雄、森下 保夫



素人のど自慢風景

町道の路線認定について

去る七月二十一日町議会臨時会において、町道全路線の認定を懸念いたしました。これは昭和三十年四月一日及び昭和三十一年七月一日並びに同年九月三十日町村合併により元町村において認定した道路をそのまま受けついで来たので元町村にまたがる一本の路線に

それぞれ二つの路線名があるなど複雑を極め、これが管理上困難があるため路線の整理統合を必要としたもので、別表の通り旧路線を廃止し、新しい路線を認定いたしました。その関係図面は役場土木課において一年間縦覧に供していただきます。

町道路路線名

番号	新	旧
1	城山尾籠線	尾籠線
2	城山丸線	坂平線
3	下柿野三津瀬線	三津瀬線
4	沢戸大洞線	大洞線
5	下野小野線	小野平線
6	外貝津伝法線	伝法線
7	加賀野足込線	足込線
8	滝沢大原線	大原線
9	布川西向線	牧西向線
10	中村尾籠線	中村尾籠線
11	上ノ原寺甫線	寺甫線
12	月下栗代線	栗代線
13	宇山柿平線	柿平線
14	本郷足込線	本郷足込線

15	西山赤谷線	20	南万場桜平線
16	浅井西山線	19	西万場上岡本線
17	南万場寄近線	18	岡本二々田線
18	岡本二々田線	17	南万場浅井線
19	西万場上岡本線	16	御寺
20	南万場桜平線	15	役場
21	岡本大森線	14	浅井大森線
22	隧道口三津瀬線	13	久保田赤谷線
23	本郷河内線	12	万場西山線
24	河内中在家線	11	御園
25	隧道口加久保線	10	南万場横道線
26	塩津東山線	9	二々田寄近線
27	岡本中在家線	8	東方場上田線
28	南山与良木線	7	上小田田線
29	小林東山線	6	上岡本浅井線
30	上岡本西山線	5	上岡本西山線
31	三津瀬鳳来線	4	オロン沢線
32	二々田東山線	3	和手貝津線
33	市場上ノ原和手貝津線	2	市場上ノ原線
34	長沢沢上線	1	親所尾沢線
35	西山赤谷線	0	親所尾沢線
36	浅井大森線		親所尾沢線
37	久保田赤谷線		親所尾沢線
38	万場西山線		親所尾沢線
39	御園		親所尾沢線
40	南万場横道線		親所尾沢線
41	二々田寄近線		親所尾沢線
42	東方場上田線		親所尾沢線
43	上小田田線		親所尾沢線
44	上岡本浅井線		親所尾沢線
45	上岡本西山線		親所尾沢線
46	オロン沢線		親所尾沢線
47	和手貝津線		親所尾沢線
48	市場上ノ原線		親所尾沢線
49	親所尾沢線		親所尾沢線
50	親所尾沢線		親所尾沢線
51	親所尾沢線		親所尾沢線
52	親所尾沢線		親所尾沢線
53	親所尾沢線		親所尾沢線
54	親所尾沢線		親所尾沢線
55	親所尾沢線		親所尾沢線
56	親所尾沢線		親所尾沢線
57	親所尾沢線		親所尾沢線
58	親所尾沢線		親所尾沢線

35	長沢平井線	57	長沢平井線
36	尾沢柴折峠線	56	尾沢柴折峠線
37	大下田三ツ石線	55	大下田三ツ石線
38	川角南山線	54	川角南山線
39	下川角元平線	53	下川角元平線
40	下川御園線	52	下川御園線
41	平岩金柴線	51	平岩金柴線
42	長沢軒山線	50	長沢軒山線
43	下田川角線	49	下田川角線
44	金紫峰山線	48	金紫峰山線
45	西園目坪沢線	47	西園目坪沢線
46	足込御園線	46	足込御園線
47	足込古戸線	45	足込古戸線
48	長畑尾々線	44	長畑尾々線
49	御園古真立線	43	御園古真立線
50	御園下黒川線	42	御園下黒川線
51	久保上黒川線	41	久保上黒川線
52	御園大和金線	40	御園大和金線
53	小田敷名倉線	39	小田敷名倉線
54	東園目浦川線	38	東園目浦川線
55	西園目赤羽根線	37	西園目赤羽根線
56	沢上小田敷線	36	沢上小田敷線
57	橋場坪沢線	35	橋場坪沢線
58	下畑尾々線	34	下畑尾々線
59	下畑尾々線	33	下畑尾々線
60	下畑尾々線	32	下畑尾々線
61	下畑尾々線	31	下畑尾々線
62	下畑尾々線	30	下畑尾々線
63	下畑尾々線	29	下畑尾々線
64	下畑尾々線	28	下畑尾々線
65	下畑尾々線	27	下畑尾々線
66	下畑尾々線	26	下畑尾々線
67	下畑尾々線	25	下畑尾々線
68	下畑尾々線	24	下畑尾々線
69	下畑尾々線	23	下畑尾々線
70	下畑尾々線	22	下畑尾々線
71	下畑尾々線	21	下畑尾々線
72	下畑尾々線	20	下畑尾々線
73	下畑尾々線	19	下畑尾々線
74	下畑尾々線	18	下畑尾々線
75	下畑尾々線	17	下畑尾々線
76	下畑尾々線	16	下畑尾々線
77	下畑尾々線	15	下畑尾々線
78	下畑尾々線	14	下畑尾々線
79	下畑尾々線	13	下畑尾々線
80	下畑尾々線	12	下畑尾々線
81	下畑尾々線	11	下畑尾々線
82	下畑尾々線	10	下畑尾々線
83	下畑尾々線	9	下畑尾々線
84	下畑尾々線	8	下畑尾々線
85	下畑尾々線	7	下畑尾々線
86	下畑尾々線	6	下畑尾々線
87	下畑尾々線	5	下畑尾々線
88	下畑尾々線	4	下畑尾々線
89	下畑尾々線	3	下畑尾々線
90	下畑尾々線	2	下畑尾々線

71	70	69	68	67	66	65	64	63	62	61	60	59		
市原横引線	三輪中学校線	横引山の 上田線	畑吉沢線	柿野先林 小野線	御園平沢線	元平上貝 津線	持城嶋橋線	下向平線	大野坂場線	川合大林線	田村毛合線	大林毛合線		
109	150 108	107	106	105 104	102	101 100	99	98	97	93	92	91		
市原横引線	中学 畑浦川 校線	横引東栄 駅線	畑吉沢線	先林小野 線	柿野先林 線	御園平沢線	元平若竹 線	上貝津若 竹線	持城嶋橋線	下向平線	坂場大野線	川合大林線	田村毛合線	毛合大林線

84	83	82	81	80	79	78	77	76	75	74	73	72			
古戸桑原線	浅井太和 金線	上粟代日 蔭線	飯田海老 線	平栗沢上 線	深谷池場 線	本郷小田 線	竹ノ田小 田線	下奈根大 尻平線	ホウジ平 上奈根線	中河内上 河内線	奈根川上 線	深谷河内 線			
145 126	125	124	123	121	120	122 119	118	117	116 115	114	112	111			
上粟代桑 原線	粟代古戸 線	古戸河内 線	上粟代古 戸線	飯田海老 線	沢上線	池場深谷 線	小田本郷 線	小田浦川 線	竹ノ田小 田線	若嶋小田 線	河内上奈 根線	河内本郷 線	上河内線	奈根浦川 線	深谷河内 線

97	96	95	94	93	92	91	90	89	88	87	86	85
下古戸浅 井線	浅井日向 線	黒瀬黒内 線	川向杉下 線	折大沢線	青野崩沢 線	日影伝田 野線	小林新畑 線	小林和市 線	清代花丸 線	小林天堤 線	柏原桑原 線	下古戸粟 代線
143	142	141	140	139	138	135	134	133	132	130	129	128
古戸線	折日向線	丸山線	貝久保線	古戸大沢 線	青柄線	小林新畑 線	小林桑原 線	小林和市 線	花丸桑原 線	小林田口 線	粟代平山 線	古戸粟代 線

102	101	100	99	98
中 奈 根 下 奈 根 線	古 戸 太 和 金 線	川 角 名 倉 線	落 石 今 水 線	川 合 中 田 線
151	149	148	147	146
中 奈 根 下 奈 根 線	古 戸 太 和 金 線	名 倉 川 角 線	落 石 今 水 線	川 合 中 田 線

東栄町民踊講習会

民踊と共に明るい、楽しい生活を
と毎年民踊講習会が開催されて
おりましたが本年も東栄町婦人会
東栄町観光協会の共催のもとに去
る七月二十六日午前九時より県立
本郷高校体育館を会場に借りて開
催されました。

台風の影響もあつてか烈しい雨
の中を続々と受講者がつめかけて
推定三〇〇人を超え講師の香川舞
踊研究所の香川ゆづる先生、香川
千鶴先生の熱心な指導のもとに
鹿兒島おほら節、おやいもこいも
古城、八木節、ユンタ恋しや、紅
白音頭等々と手振りよろしく終日
踊り暮した。

若い人も老いた会員の人も子供
もと文字どおり老若男女が歌声に
合せて踊りやかなふんいきに包
まれた踊りの波がさしもの体育館



講習の民踊の盛会

家畜管理所便り

東栄町農協酪農部の結成と その後の動向について

一昨年夏から下川本郷地区を中
心に酪農研究会が生れ二十余頭の
幼牛を導入して育成その他飼料問
題等の研究に専念してきた熱心な
努力により既に二頭分娩妊牛で
売却したもの三頭なお現在妊娠

をせまく見せるようであつた。
午後四時すぎ、名残りおしげに
会場をでていく受講者の顔も心な
しか明るく見えた。この人達の手
で町内のすみすみまでも民踊が広
げられやがて生活にマッチした楽
しいレクリエーションとして普及

たのでありますが第一重要懸案と
していた生産乳の販路問題につい
てあらゆる角度から研究もし協議
も重ねた結果協同乳業会社との間
に交渉がまとまり有利に取引がで
きる締結の運びにいたつたのであ
ります。同社としてもその構想か
ら見て将来大発展を約束せられて
いる中部経済圏一帯における市乳
の需要増加を目標に南信から奥三
河および北遠地帯の山岳酪農の発
展に期待をかけている関係もあり
また一面之に呼応して北設でも昨
冬愛知県ホルスタイン協会北設支
部（現在会員六〇名支部長稲武古
橋財団理事古橋茂人氏）を結成し
たので之を母体として、稲武、名

倉、津具、東栄を一带として結ぶ
酪農地帯を造成し、町村並に農協
当局の協調を得て、本格的に酪農
経営により、山地農業の回生を企
る気運に向つて現況であります。
尚協同乳業においても本秋十
月より北設北遠を通し豊橋工場に
いたる専用輸送車を運送する計画
が確定し、東栄酪農部の生産乳も
愈々本秋より之に加ることに決定
したのであります。勿論運賃は会
社負担で、乳価は豊橋附近と同値
に取引するので、今迄輸送面に於
いて大変不利に置かれた山地帯の
酪農も、消費地附近の酪農同様有
利に経営できることになつたこと
は、誠に喜ばしいことでありま
す。要は山地帯の特殊性を生かし
た酪農経営を研究して乳牛の育成
に牛乳の生産に精進すべき秋であ
ると思ふのであります。現在水田
の裏作利用畑作の行詰りの現況に
ある時、自給飼料の研究の余地は
充分残されているのみか、過去三
河産馬の生産地として、名声を走
らした時代から見ると、草生地は
植林に転換したり、或は荒廃状態
にある点等草地改良の余地は幾ら
でもある。この仮慢然と決手傍観
はできないのではないのでしょうか
農業経営が曲り角にきたと叫ばれ
つつある今日、経営の改善も時代
の推移に適応した対策を講究すべ
きは当然であります。お互いに山
村農業の現況に深い反省と、再検
討を加え、農家経営のあり方農民

としての考え方等大きく転向せね
ばならぬことと思われまふ。東栄
町に於ても若干の草生地あり耕地
五―六反程度の農家で家族構成
等を観察して研究すれば一―三頭
の酪農をとりいれ、専念すれば立
派に農家経済を支えるだけの経営
が成り立つものと思ふのでありま
す。酪農は畜産の中で高度の技術
を必要としますが、之れも経営
者の熱意の問題で解決できます近
くの鳳来寺町山吉田部落の或る農
家四十五才位の婦人の手で搾乳牛
三頭幼牛二頭を育成しているの
を見て意を強くしたことがありま
す。これを反して穀類は人口増
加を見こんでも現在と同じかない
しは減つていくといわれます。今
後国民の食生活に畜産食品の需要
が激増する傾向は確実であり之か
らの農業経営には国家も農業再編
成という大きな目標の下に進んで
いくと思われまふ。経営は企業的
でなくては駄目であるから相互に
農家は共同体制により組織の力と
技術の研究により経営の合理化を
図り所得倍増の線に到達すること
を期待します。

男子の反省について

足 込 原 田 生

空前の混乱を重ねた新安保条約が発効を見るに至った直後に岸内閣は退陣し、池田内閣の成立に際し厚相として日本ではじめての女性大臣が実現を見ました。それより二日後にはセイロン首相として世界で最初の婦人宰相が誕生した事が報導されたのであります。今更ながら女性の社会的地位への躍進を如実に物語るものであります。この機会に私共は冷静に男女相互間の地位や能力等その実態を觀察し反省するのにも無駄事ではないと存じます。某会社の常務の話によれば明治大正の時代は事務系統の職員は全部男で占められていたものが今日では重要ポスト以外には殆ど女子職員に変更した通常の事務は完全に職責を全うするし、なお女性の習性として来客の接待掃除の手伝まで出来て大変好都合であると語った。また肉體労働方面でも重労働と特殊技術を要するものは別として農業の労務をはじめ簡易な労働の需要は婦人が絶対的に歓迎されていると申されま

す。最近に於ける職業婦人の進出は実に目覚ましいものがあることは御承知の通りであります。今後とも年々増加の傾向にあるのでございませう。このような状態が続けば男子の職場は次第に狭いものになつて来てやがて不合理な社会構成

の時に到来するのではないかと案じられるのであります。男の優越感は今日は贅福となつて居ります。報酬は仕事の価値や効果のみに対照となるのが当然で男性としては本来の体力を十分に活用すると共に勤勉努力の点に於いても婦人を凌ぐ覚悟を持たなければならぬと思ひます。次に男女間の素行上の問題につきましては漠然と考へますとき男の方が甚だしく悪

いような錯覚をおこすことがあります。しかし男女の性行は個人的には体力や環境により相違はありましても全人類の男女を二大別して集計するとき全く同数となることは事実であります。この最も重大な問題が完全に同権である以上男子は無美の罪に悩んでいる次第であつて女性から圧迫を受ける道理はないと信じます。兎角恐妻家のうちはまだ救われる道もありましようが強妻家となつては面目次第もないと存じますので大いに奮起を切望して止まない次第でございませう。

〔農事メモ〕

稲作管理について

一、稲作管理について

イ、中干後の灌漑水について
中干後に稲田に灌水しておくこと土中に酸素の不足を来し折角の中干によつて土中深く入つた根も窒息のために障害を受けるので二日とか三日に一回位水を通す程度の灌漑を行い出穂後一十五日位で全く落水するのがよい。

ロ、病害虫防除

○穂首イモチ病、葉イモチ病の発生は勿論、大丈夫と思つた稲も出穂期になると予想外にイモチ病発生のため減収を見るので今年こそは穂ばらみ期と穂揃期の一回は是非水銀粉剤の撒布

をして増収を計りたい。

○うんか類の防除、本年はひめとびうんかの媒介によつて精葉枯病の発生が多かつたが、これから秋にかけては秋うんか(とびうんか)が例年発生する田や風通しの悪い所、出来過ぎと思われれる田等には発生し易く特に台風直後には異状発生をきたすので充分注意して発生を見たら直ちに「マラソン粉剤」等を撒布して防除することが肝要である。

二、秋野菜の播付について

○結球白菜 早播すると病害中の発生が多く特に腐敗病の被害を受け、おそ播すると結球不完全

になるので当町としては八月十五日〜二十日位が播種適期です。

○大根類、煮食用の宮重、聖護院方領等の大根は早蒔で随時食用に供してもよいが沢庵用大根としての阿波大根は早蒔をして収穫期が遅れると肉質(す)が入る)が粗悪となり品質が悪くなるので八月下旬〜九月上旬に蒔いて肥切れをきたさないよう肥培管理をするのがよい。

○玉葱・葱類・早蒔に過ぎると苗が大過ぎ抽台するし、おそ蒔きに過ぎると球が小さくなるので九月五、六日を中心にするのがよい。

○かんらん、早蒔苗は春になつて抽台するので九月十五日〜二十日頃蒔くのがよい。

○ホーレン草、九月下旬から十月にかけて蒔くのがよい。

○その他の菜類(からし菜、春菊、たかな、かつお菜、水菜等) 九月下旬〜十月上旬に蒔くのがよい。

畜犬・鳩の放飼について

最近食糧事情の緩和と経済状況の安定によつて、畜犬・鳩等を飼育する家庭が多くなつて参りました。これに伴い放飼をする向もあつて農作物を荒らすよう農家や一坪家庭菜園耕作者から被害申出が

ありますので緊留または糞箱飼育を行い農作物増産に御協力下さい

退職 古谷共子 六月三十日付
就職 谷田妙子 七月一日付
厚生課 山城久代 全日付

人事異動

北設楽郡民野球大会について
昨年は東栄町を会場にして開催され東栄町チームが優勝しましたが本年も北設楽郡民野球大会がこの八月に開催される予定であります。

東栄町からは町民野球大会において優勝した御殿チームが出場する予定になつておりますので町民各位の御声援をお願いします。

木材市況 (7月中旬豊橋)

種別	区分	長さ	大きさ(経)	高 価	仲 価		
す ぎ		13尺	55下	3,386円	3,186円		
		"	6・7	3,280	3,236		
		"	8・9	3,380	3,336		
		"	尺上	3,480	3,436		
		ひ の き		55下	3,580	3,456	
				60上	3,730	3,606	
				10尺	3,828	3,480	
				18尺	}	4,750	4,270
				20尺		4,800	3,800
		ま つ (筋良)		55下	2,350	2,200	
95下	2,580			2,300			
尺上	2,780			2,400			
16尺	3,518			2,600			
まつ・もみ製函材				2,300	1,900		
撰 木		ひ の き	13尺	6・7	4,900		
		"	"	8・9	7,850		
		"	"	尺上	11,000		
		す ぎ	"	中目	3,800		
		"	"	尺上	4,800		